



「英語が話せるようになりたい。でも何から手を付けていいのかわからない」

- そんな方のためのシリーズ第2弾

# 『究極の英語スピーキング Vol.2』

## [自然な 2000 語 × 中 2 レベル英文法]

2009年6月9日(火)発売

株式会社アルク(東京都杉並区永福 代表:平本 照磨)より、新刊『究極の英語スピーキング Vol.2[自然な 2000 語 × 中 2 レベル英文法]』のご案内を申し上げます。

### 日常生活をカバーする 2000 語 × 中 2 英文法 = スラスラ英語が話せる自分！

「5時に会社を出るつもりです」  
「ご要望に応えられるよう、最善を尽くします」  
「今日はこの夏、一番の暑さでした」



[本体] 1,500 円(税込 1,575 円)  
[ISBN] 978-4-7574-1599-7  
[サイズ] B6 変型  
[頁数] 160 ページ  
[CD] 1 枚付き(77 分)

【既刊書】



究極の英語スピーキング Vol.1  
[最初の 1000 語 × 中 1 レベル英文法]

こんな、日常的に使っている表現。英語で何と言うかすぐに答えられますか？

ヒントは、「未来を表す表現」「to 不定詞」「最上級」です。(答えは最後に)

本書では、こういった「知っているけど、使うとなると自信が持てない」というような中学2年で習う英文法と、SVL(\*1)の LEVEL 1と2、つまり初級レベルの 2000 語だけを使って(\*2)、言いたいことを言えるようになる練習をします。

本書で取り上げる文法項目や単語は、少し英語を勉強したことのある方なら、見たことも聞いたこともないということはないでしょう。それが口から出てこないのは、**圧倒的に練習が足りていないことが原因**なのです。

そこで本書では、**中学2年で習う英文法を 24 項目取り上げ、300 以上の例文**を使って、考え込まずに英文が口から出てくるようになるまで繰り返し練習します。

本書の最大の特徴は、**日本語から英語を発想すること**。そもそも、相手に伝えたい内容がなければ、英会話は成り立ちません。本書では**本はもちろん、CDにも日本語を収録して、それを「英語でどう言うのか」を考える仕組み**にしました。



<「PART1 文法トレーニング」ページ>

簡単な構文でも、相手に伝えられることはたくさんあります。本書の練習を通じて、英語を話すための基礎体力が身に付きます。

1 SVL: Standard Vocabulary List の略。アルクが編集した「標準語彙水準 12000」のこと。日本人英語学習者にとって有用な英単語を全 12 段階にレベル分けした語彙リストです。

2 固有名詞は除く。

(冒頭の質問の答え: 上から)  
I am going to leave the office at 5 o'clock.  
We will do our best to meet your needs.  
Today was the hottest this summer.

見本書のご請求、本リリースへのお問合せは下記までご連絡ください。

株式会社アルク 広報部 (担当:河合)  
〒168-8611 東京都杉並区永福 2-54-12  
電話: 03-3323-3521 FAX: 03-3327-3971  
e-mail: menet@alc.co.jp